

2020 デュアスロンチャレンジ in 日産スタジアム

競技運営マニュアル【TO 用】

第 1.0 版

作成者	技術代表 岩田 聖市
作成日	2020年11月1日
最終更新日	2020年11月17日

目次

目次.....	2
1. はじめに.....	4
2. 体制.....	4
2-1. TO 一覧.....	4
3. 共通事項.....	5
3-1. 服装(ドレスコード).....	5
3-2. 持ち物.....	5
3-3. 集合場所/時間.....	6
3-4. COVID-19 感染防止対策.....	6
3-5. スタッフ(TO)、選手、応援者への対応.....	7
4. 競技関連 (共通).....	7
4-1. 競技カテゴリー/参加人数/レースナンバー.....	7
4-2. タイムスケジュール.....	8
4-3. 距離と周回数.....	8
4-4. 競技説明会.....	8
4-5. 開会式・閉会式.....	8
4-6. コース.....	9
5. 競技規則・ローカルルール (共通).....	10
5-1. 全般.....	10
5-2. ルール違反に対する対応.....	10
5-3. 計測・周回確認.....	10
5-4. リタイア時の対応.....	10
6. 競技規則・ローカルルール (バイク).....	11
6-1. 計測.....	11
6-2. 機材.....	12
6-3. ドラフティング.....	12
6-4. その他.....	13
7. 競技規則・ローカルルール (ラン).....	13
7-1. 計測.....	13
7-2. その他.....	14
8. 各担当業務.....	14
8-1. 受付/Finish.....	14
8-1-1. 受付.....	14
8-1-2. Finish (バイク).....	15
8-1-3. Finish (ラン).....	15
8-2. 招集/Start.....	16
8-2-1. 招集 (バイク).....	16
8-2-2. 招集 (ラン).....	16
8-2-3. START (バイク).....	16
8-2-4. START (ラン).....	16
8-3. 設営/定点.....	17
8-3-1. 設営 (バイク).....	17
8-3-2. 設営 (ラン).....	17
8-3-3. 定点 (バイク).....	17
8-3-4. 定点 (ラン).....	17

■略語一覧

TO	テクニカルオフィシャル(審判員)
TD	テクニカルデリゲート(技術代表)
HR	ヘッドレフリー
BC	バイクチーフ
RC	ランチーフ
PL	ポジションリーダー

1. はじめに

日頃より TO 活動へのご協力に感謝するとともに、「2020 デュアスロンチャレンジ in 日産スタジアム」への TO ご参加いただきありがとうございます。

本大会におきましては、安全第一での競技運営と合わせて、新型コロナウイルス感染予防に向けた対応を行う必要があります。TO の皆さんにおきましては、従来とは異なる運営方法と各種感染予防対策について事前に十分に理解いただき、大会運営者側の立場として、選手・応援者・関係者等、会場に会場される皆さんへの対応をお願いいたします。

「2020 デュアスロンチャレンジ in 日産スタジアム」は 大会ではなく、記録会の位置付けとなり、トランジションがありません。また、大会参加者は小中学生や初心者の多い大会イベントとなります。そして各ポジション配置は役割による配置とさせていただきます。

皆様のご理解、ご協力により、無事に記録会を成功させたいと願っております。

技術代表 : 岩田 聖市

2. 体制

2-1. TO 一覧

#	名前	ポジション	担当・役割	備考・備品
1	岩田 聖市	TD	技術代表	無線
2	三井 はるみ	HR	ヘッドレフリー	無線
3	中島 尚樹	BC&RC	競技チーフ	無線
4	猪俣 位	COVID19	検温・消毒・ソーシャルディスタンス (PL)	無線、体温計、消毒液、雑巾
5	岡本 典子	COVID19	検温・消毒・ソーシャルディスタンス	
6	押木 雅朋	受付/Fin	受付、フィニッシュ管理 (PL)	無線、消毒液、ゴミ袋
7	中園 あや	受付/Fin	受付、フィニッシュ管理	
8	熊澤 奈弥	受付/Fin	受付、フィニッシュ管理	
9	岡部 哲夫	受付/Fin	受付、フィニッシュ管理	
10	竹内 史	招集/Sta	競技スタート、競技招集・整列 (PL)	無線、消毒液、アンクルバンド
11	伊藤 功顕	招集/Sta	競技スタート、競技招集・整列	無線、ビニール袋、ゴミ袋
12	澁谷 実	招集/Sta	競技スタート、競技招集・整列	
13	松本 明子	招集/Sta	競技スタート、競技招集・整列	
14	松本 裕	招集/Sta	競技スタート、競技招集・整列	
15	榊 幸喜	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理 (PL)	無線
16	花井 哲	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理	無線
17	小原 博史	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理	無線
18	三品 喬弘	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理	
19	大根田 崇	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理	
20	森田 正人	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理	
21	綱島 浩一	設営/定点	コース設営、安全・応援者管理	

3. 共通事項

3-1. 服装(ドレスコード)

- 上半身 : JTU 審判員ポロシャツ(白黒) [※注意] 忘れた場合、ベストなど貸与はなし。
- 下半身 : 黒のスラックスまたは半ズボン
- 帽子 : JTU キャップ
- 靴 : 黒推奨・動きやすいもの。派手なものは避ける。
- アンダーウェア : 黒か白の無地・派手なものは避ける。
- サングラス : 色の薄いものについて使用を許可・任意にて着用する。
- 雨具(雨天時) : 透明レインコート・傘の使用は不可とする。
- マスク : 白または黒の無地のもの 不織布のものを着用。
 - ・各自で予備を含めて準備し、着用する。
 - ビニール手袋 : 大会側で準備
 - ・選手と接するポジションでは常時着用する。
 - ・消毒などの対応時に着用して対応する。
 - ・救護など、選手と接する場合に、着用する。

3-2. 持ち物

- JTU ルールブック・必須 (2019 年1 月改定版)
- JTU 公認審判員資格証・必須
- 筆記用具(ペン・メモ帳)・必須
- ホイッスル・必須 ※緊急時に使用。使用する場合は人に向かって吹かない。ピ・ピ・ピと短く吹く。
- イエロー/レッドカード・お持ちの方は持参する。
- エマージェンシーシート・お持ちの方は持参する。 ※低体温の選手の保護のため。
- ビニール袋・大会側で準備。

3-3. 集合場所／時間

- 大会前日 11月28日(土)
 - (1) 集合時刻 13:00／前日参加TO(岩田TD、三井HR、中島C)
 - (2) 集合場所 大会本部前

<前日の検温について>

※大会前日の夜、自宅で検温して問診票に記載する。

- 大会当日 11月29日(日)

<当日朝の検温について>

※・TO用の問診票・参加同意書を、印刷して記入の上で大会当日持参する。

・TO受付にて提出をする。

- (1) 集合時刻 6:30／全TO
- (2) 集合場所 大会本部前

※車でお越しの方:TO用駐車場を使う方は事前にTDまで申請をしてください。当日の駐車場開門は6:20の予定です。

【当日・前日連絡先】

レースディレクター(杉浦博):070-3236-2277

技術代表(岩田聖市):090-4173-3765

3-4. COVID-19 感染防止対策

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に関し、本大会の運営に当たっては、JTUから発信されている「大会開催時のチェックリスト」に準拠し、感染防止対策を実施いたします。

TOとして運営にご協力いただくみなさんにおきましては、本感染防止対策における内容を事前にご理解いただき、選手・応援者への丁寧な説明と協力要請をお願いいたします。また、TOとして業務するみなさん自身も感染しないよう、対策を徹底の上で業務いただけますようお願いいたします。

- 2週間前より毎日検温を実施して記録する。
- TO・選手・応援者が順守すべき項目をチェックリスト化し会場内に掲示する。
- COVID-19対策委員をアサインし、チェック項目が順守されているか、会場内を定期的に巡回・確認する。
- TO・選手・応援者全員の情報を、大会後1か月間をめどに保管し、万が一感染者が発生した場合に備える。
- 会場すべてに、ソーシャルディスタンス(2m)を保った導線の確保、指導を行う。
- 「マスク」の着用を徹底する。今大会で使用する「マスク」は、ウイルス拡散防止効果の高い、不織布でできたものとする。
- 大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、KnTU事務局への連絡を要請する。

KnTU事務局:杉浦(070-3236-2277)

3-5. スタッフ(TO)、選手、応援者への対応

- スタッフ、選手、応援者が下記の条件に当たる場合は、参加見合わせの要請をする。
 - ・ 体調が良くない場合
 - ・ 同居家族や近親者に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 観察期間を必要とされている国・地域から帰国後、14 日が経過していない場合
- 応援者の制限を要請する。
 - ・ 小学生・中学生・高校生の部に出場する選手1 名に対して、応援者は2 名までとする。
 - ・ 一般の部に出場する選手1 名に対して、応援者は1 名限定とする。
- 選手・応援者へのお願い事項
 - ・ マスクの着用（選手：スタート直前まで着用。競技中はポケットに保持するか、ゴミ袋に捨てさせるか、記名させたビニール袋にいれさせて、フィニッシュで受け取らせる）
 - ・ ソーシャルディスタンスの確保
 - ・ ツバやタンを吐かない
 - ・ タオルを共用しない
 - ・ 飲料を飲み回ししない
 - ・ 大声での声援や指導は行わない
 - ・ 必要以上に裸足にならない
- スタッフ・TO のビニール手袋の着用
 - ・ 選手と接するポジションは着用して業務する
- けが人や病人発生時の緊急連絡先
 - ・ 本部、もしくは周囲の無線を所持している TO へ連絡する
- バイク置き場
 - ・ 競技開催中、本部付近にバイク置き場を設置し希望者のバイクを預かる
- トラックフィールドの芝生
 - ・ スタッフ(TO)、選手、応援者のトラックフィールドの芝生への侵入は禁止する

4. 競技関連（共通）

4-1. 競技カテゴリー／参加人数／レースナンバー

No	カテゴリー	人数	レースナンバー	備考
1	小学生・低学年（1 年～3 年）	23		
2	小学生・高学年（4 年～6 年）	31		
3	中学生	7		
4	一般（高校生）	1		
5	一般	26		
計	-	88	-	-

※人数は 11 月 14 日現在

4-2. タイムスケジュール

受付	7:30～8:15			
開会式・選手説明	8:05～8:15			
競技	招集時間	スタート時間	最終選手 スタート時間	終了時間
バイク	—	—	—	—
小学生・低学年	8:15	8:25	8:27	8:40
小学生・高学年	8:35	8:45	8:48	9:05
中学生以上	9:00	9:10	9:13	9:45
ラン	—	—	—	—
小学生・低学年	9:55	10:05	同左	10:20
小学生・高学年	10:10	10:20	同左	10:35
中学生	10:25	10:35	同左	11:00
高校生以上	10:50	11:00	同左	11:40
セミナー	11:45～12:15			
閉会式	12:15～12:30			

4-3. 距離と周回数

- 小学生・低学年：バイク 3 km（3周） / ラン 1,500m（3周+300m）
- 小学生・高学年：バイク 5 km（5周） / ラン 1,500m（3周+300m）
- 中学生：バイク 10 km（10周） / ラン 3,000m（7周+200m）
- 高校生以上：バイク 10 km（10周） / ラン 4,500m（11周+100m）

4-4. 競技説明会

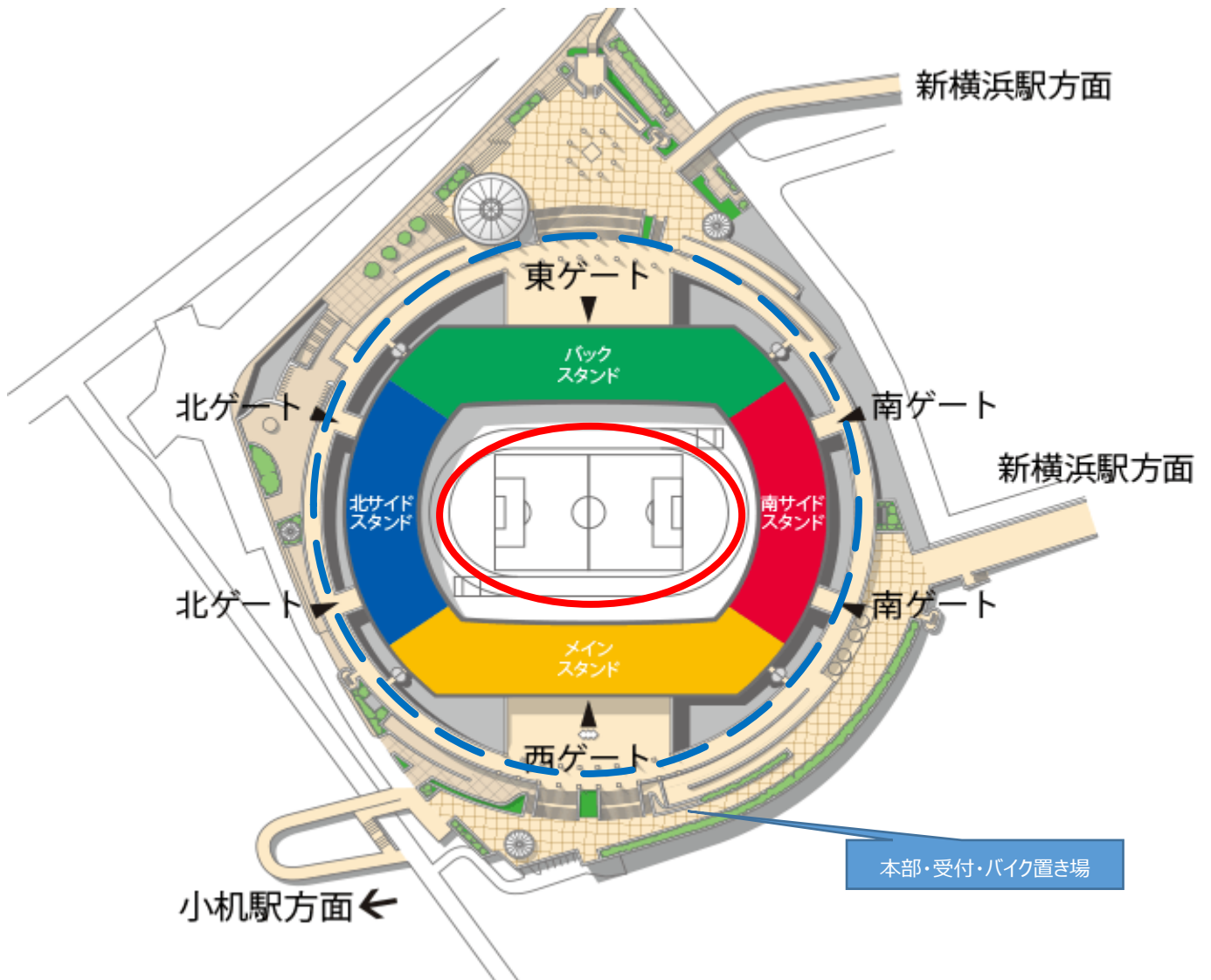
- オンラインによる競技説明会とし、事前にオンライン動画をインターネット上に公開し、選手に視聴してもらう。
- なお、当日の説明会はアナウンスのみとする。



4-5. 開会式・閉会式

- アナウンスのみで実施する。
- リザルトは大会終了後、KnTUホームページにて公開する。

4-6. コース

- 以下にバイクおよび、ランコースを示す。



-  : バイクコース(4階コンコース)
-  : ランコース (トラック)

5. 競技規則・ローカルルール（共通）

5-1. 全般

- JIU競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技運営する。
- アクションカメラ（GoProなど）を着用してレースに出場することはできない。バイクへの装着も不可。
- 「自転車」・「自転車(競技用)ヘルメット」・「自転車及びランニング用シューズ」は、大会当日に選手自身で持参すること。忘れた場合はレースには参加できない。(当日の貸し出しは無し)
- 選手への個人的援助は禁止する。
- 各カテゴリーのスタート時間に遅れた場合はDNSとする。ただし、バイクDNSの場合、ランへの出場は可能とする。
- バイクのみ、ランのみの参加も可能とする。
- TOによる選手への拍手程度の応援を可とする。(特に中学生以下の選手への盛り上げ。)

5-2. ルール違反に対する対応

- 注意／警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を詳細に記録する。その後、審判長に報告し裁定を待つ。

5-3. 計測・周回確認

- 計測はアンクルバンドで行う。
- 個人の周回確認は自己責任で行うよう回答する。
- 周回確認用の輪ゴムの配布はない。

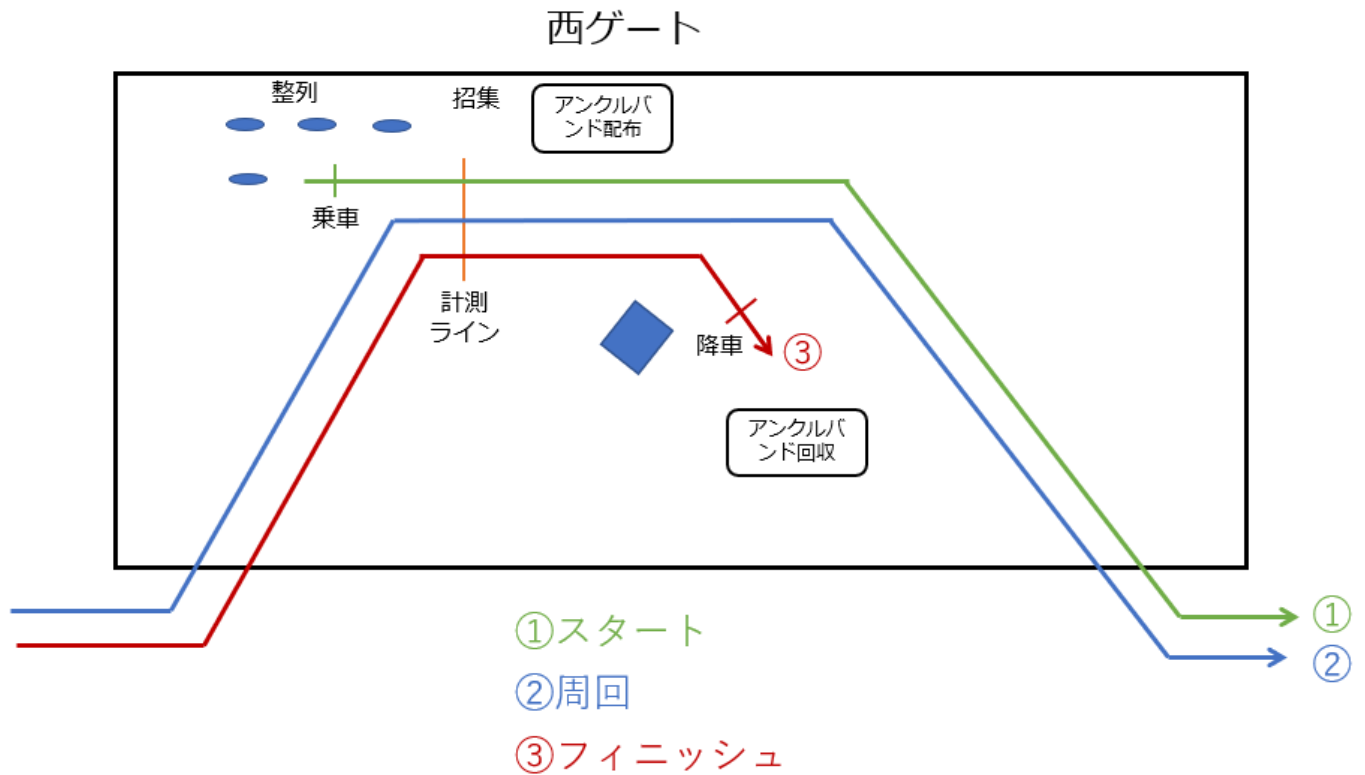
5-4. リタイア時の対応

- リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収する。
- 大会本部に無線もしくは携帯電話にてレースナンバーをリタイア理由と共に報告する。
- TOはアンクルバンドには直接触れず、ビニール袋に入れて封をして競技終了後に本部へ返却する。
- リタイア選手は、フィニッシュまで歩かせる。
- リタイア後の移動時に、ソーシャルディスタンスを確保するよう要請する。
- リタイア後のマスクの着用を要請する。(マスクをフィニッシュに預けている場合はフィニッシュ到着後に着用。)

6. 競技規則・ローカルルール（バイク）

6-1. 計測

- カテゴリーごとのローリングスタート：5秒おきにレース NO.順に計測ライン手前よりスタート。
- 計測マットから計測する。以降、周回ごとに計測マットにて計測する。
- 計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営・導線イメージは下記とする。



6-2. 機材

- バイク競技に使用する自転車は、「ロードバイク」・「通常街中で乗っている自転車」のどちらでも構わない。
 - ヘルメットの「あご紐」の形状が下記のもの使用不可。(ローラースケート用などで発売されているもの)
 - ・ 首にかけずにカップ形状の「あごあて」であごの先端で紐を支えるタイプ
 - ・ 紐が伸縮性のあるゴム状のタイプ
- ※ 転倒したときに外れやすく、簡単に脱げて取れてしまうため。
- ヘルメットは通学用、工事用は使用不可。
 - 小中学生の DH バーの装着は禁止。
 - スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
 - 「ペットボトル」をサイズの異なる「バイクボトルホルダー」に入れて競技を行うことは禁止。
 - 周回数確認のため、サイクルメーターの装着を推奨する。
 - ライト、ミラー、ベル、リフレクター、その他の競技に関係しないアクセサリは原則取り外してもらふ。取り外しが難しいアクセサリは、車体にしっかり固定されている場合はそのままよしとする。

6-3. ドラフティング

- ドラフティング走行は禁止。
- ドラフティングゾーンは、前方選手の前輪先端から後方 10m の範囲。バイクは約 2m であるため、4 台分の車間距離をあける。
- 他競技者のドラフティングゾーンに入れるのは、「追い越そうとしているとき(20 秒以内)」、「危険回避の場合」など。
- 追い越し中は追い抜く意思を持って「前進」している必要がある。そのため、ドラフティングゾーン内では、前走の競技者と同スピードを保ったままではならない。また、追い越されたらすぐに抜き返したり背後についてはならない。

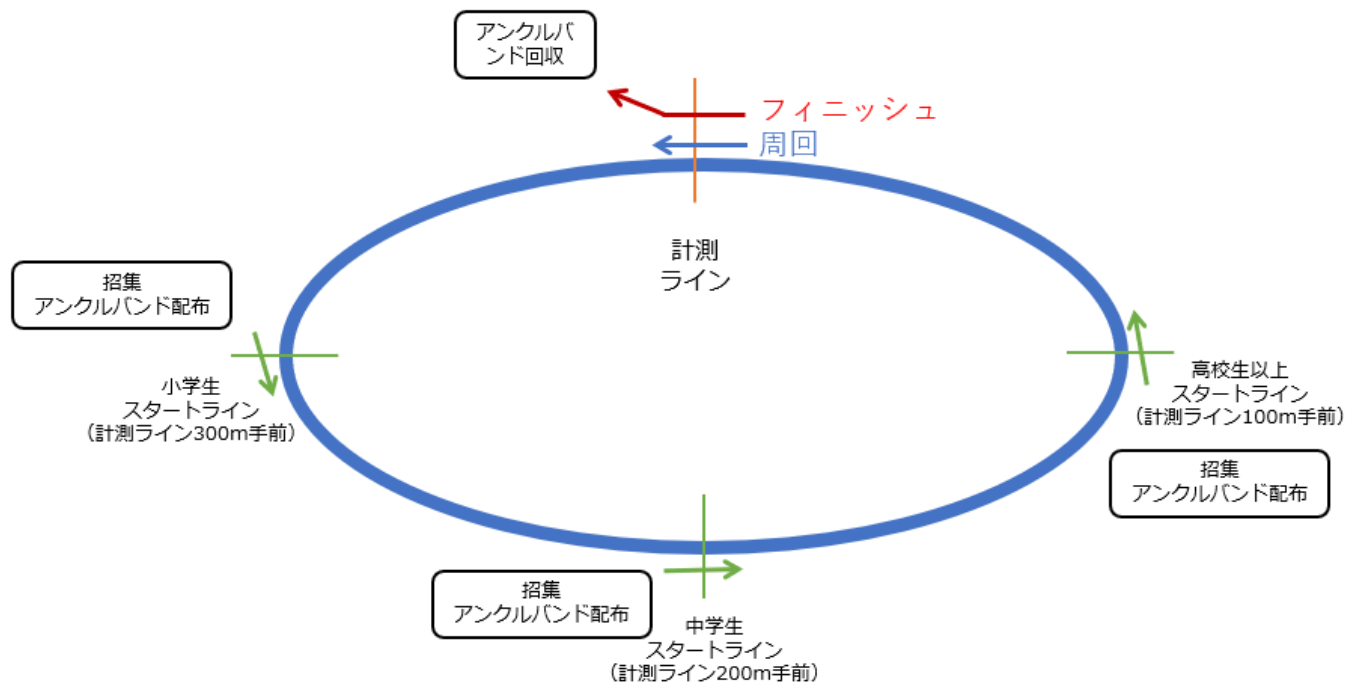
6-4. その他

- バイクでは上下ウェアを着用し、規定のヘルメットを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままで競技を行うことは禁止。
- バイク競技中、レースナンバーは背中側によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- バイク用レースナンバーシールは、バイクの右側に貼りつける。
- 走行中の「前方注意」「車間距離の確保」は選手義務。
- 「キープレフト(左側走行)」にて競技する。(左端から 1m、コース幅の左側 3 分の 1 以内を基準)
- 追い越しは、後方確認し前走者の右側から行う。
- エイドステーション無し。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- バイクの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。
- 周回数の確認は選手自身で行う。周回チェックポイントでは、自身の周回数をスタッフに確認することはできない。
- バイクの保管は各自で実施し、バイクスタンドが必要な場合は各自で用意すること。

7. 競技規則・ローカルルール (ラン)

7-1. 計測

- カテゴリーごとの一斉スタート : 各距離に応じたスタートラインからHRの合図にて一斉にスタートし、計測を開始する。
なお、以降は周回ごとに計測マットにて計測する。
- 計測エリア (スタート、周回、フィニッシュ) の設営・導線イメージは下記とする。



7-2. その他

- ランでは上下ウェアを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままで競技を行うことは禁止。
- ランではシューズを着用すること。「裸足」での競技禁止。
- ラン競技中、レースナンバーは前面によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
ずれている場合、見づらい場合などは直させる。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- エイドステーションは無し。フィニッシュ後に水を配布。（ペットボトルを配布。）
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- 競技中にスマートフォンを携帯する場合は通話や撮影などに使用することは禁止。

8. 各担当業務

8-1. 受付／Finish

8-1-1. 受付

- 受付
 - ・ TO、選手、応援者全員を受付対象とする。
 - ・ 公園への一般来場者は受付対象外とする。
 - ・ 選手と対面で接するポジションにて、ビニール手袋を着用する。
- 問診票・参加同意書
 - ・ TO、選手、応援者、など、関係者全員が住所・氏名・連絡先を記載した問診票・参加同意書を、回収する。
- 受付の導線
 - ・ カラーコーン・ネット・テープなどで入口と出口を設定し、一方通行の導線とする。
 - ・ ソーシャルディスタンスを確保して1人ずつ受付できるよう、待機エリアを確保する。
 - ・ 受付の対面エリアに、ビニールカーテンを設置する。
- 消毒用エタノールの配置
 - ・ 受付に消毒用エタノールを配置し、選手・応援者・TO の手指の消毒実施を徹底する。
- 体温の測定（COVID-19）
 - ・ 「前日」の体温測定：各自の自宅にて、体温測定を依頼し、測定値を問診票に記載する。
 - ・ 「当日」の体温測定：受付にて、非接触型体温計で測定し問診票に記載する。
非接触型体温計での測定で37.0 度を超えた場合は、接触型体温計で再測定する。
- 出場可否の判断（COVID-19）
 - ・ 導線の入口にサーモカメラを設置し、体温が高い選手・応援者を簡易的に確認する。
 - ・ 「前日」または「当日」に測定した体温のいずれかが、37.0 度以上の場合に出場可否の判断を実施する。
 - ・ **37.0 度未満**：出場可能とする。
 - ・ **37.0 度以上**：メディカルに健康相談する。
 - ・ **37.5 度以上**：参加辞退。（メディカルに健康相談を実施し、参加辞退を要請する。）
- 一般来場者へは、大会開催中であることを説明し、ソーシャルディスタンスの確保を丁寧に要請する（COVID-19）

- 受付完了者の識別(リストバンド)
 - ・ 受付完了後、出場可能となった選手・応援者にはリストバンドを渡し、大会終了まで常に着用を依頼する。



- 荷物・貴重品の預かりはありません。車のキーのみ預かる。
- バイクスタンド用の名札を希望する選手には、鍵を預かるときのタグを渡す。
- 撮影許可証の発行を行う。
- レースナンバーは、からだ用とバイク右側シールの合計 2 枚。

8-1-2. Finish (バイク)

- スタート直前にマスクを入れさせた、選手の記名付きビニール袋を、スタート担当から受け取りフィニッシュに運んでおく。
- フィニッシュした選手の降車位置までの誘導を行い、安全に降車させる。
- 安全なフィニッシュが難しい（減速不十分など）選手は、急停車などの無理なフィニッシュはさせず、そのまま再度周回するように誘導する。
- バイク終了後は、アンクルバンドを回収する。
- TO はアンクルバンドには直接触れず、選手が自ら外し、ビニール袋に確実に入れるように促す。
- カテゴリーごとにアンクルバンドを回収し、ランの招集場所へ運搬する。
- スペースを広く確保し、一方通行の導線とする。
- 降車後にマスクの着用を促す。呼吸がおさまってからの着用でよいなど配慮する。
- フィニッシュエリアに消毒用エタノールを配置し、選手・TO の手指の消毒実施を徹底する。

8-1-3. Finish (ラン)

- 設営担当と協力し、計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営を行う。
- スタート直前にマスクを入れさせた、選手の記名付きビニール袋を、スタート担当から受け取りフィニッシュに運んでおく。
- フィニッシュした選手の誘導を行う。
- フィニッシュテープは使用しない。(全カテゴリー)
- スペースを広く確保し、一方通行の導線とし、選手同士が密にならないように促す。
- TOはアンクルバンドには直接触れず、選手が自ら外し、ビニール袋に確実に入れるように促す。
- 水は未開栓のペットボトルをテーブルに配置し、選手が自らピックアップする。
- 水の配布を担当するTOは、使い捨て手袋を着用する。
- フィニッシュ後にマスクの着用を促す。呼吸がおさまってからの着用でよいなど配慮する。
- フィニッシュエリアに消毒用エタノールを配置し、選手・TO の手指の消毒実施を徹底する。
- コーン、バーなどの撤収を行う。

8-2. 招集／Start

8-2-1. 招集（バイク）

- 招集時間に選手を招集し、ソーシャルディスタンスを保った上で、カテゴリーメンバーであることを確認して、レースナンバー順に整列させる。
- 招集された選手にアンクルバンドを配布する。
- アンクルバンド、レースナンバー、バイクの右側にナンバーシールが確実にセットされているか確認する。
- バイク機材、ヘルメット形状とストラップ装着の確認をする。

8-2-2. 招集（ラン）

- 招集時間に選手を招集し、アンクルバンドを配布する。
- ソーシャルディスタンスを保った上で、カテゴリーメンバーであることを確認して整列させる。
- アンクルバンド、レースナンバーが前に確実にセットされているか確認する。

8-2-3. START（バイク）

- 計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営を行う。
- スタート時間1分前になったら、乗車位置手前に、ソーシャルディスタンスを保った上でレースナンバー順に並ばせる。
- レースナンバー順序が守れない場合は、列の後ろに並ばせる。
- スタート時間になったら、基本的にレースナンバー順に、5秒間隔でスタートさせる。
- カテゴリーごとの先導はBCが行う。（1周目のみ。）
- カテゴリーごとの最終スタート時間に間に合わない場合は、DNSとする。
- 選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を促す。
- 選手にはスタート直前までマスクを着用させる。スタート直前に選手がポケットに保持するか、ゴミ袋に捨てさせるか、記名させたビニール袋にいれさせて、フィニッシュ担当に渡す。
- マスクを捨てる場合はTOが手を触れず、選手自ら確実にビニール袋に入れるよう促す。
- マスクを回収するTOはビニール手袋を着用する。

8-2-4. START（ラン）

- スタート時間1分前になったら、スタートライン手前に、ソーシャルディスタンスを保った上で並ばせる。
- スタート時間になったらスタートさせる。（カテゴリーごとの一斉スタート。）
- 各カテゴリーのスタート時間に間に合わない場合は、DNSとする。
- 先導は行わない。（全カテゴリー。）
- 選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を促す。
- 選手にはスタート直前までマスクを着用させる。スタート直前に選手がポケットに保持するか、ゴミ袋に捨てさせるか、記名させたビニール袋にいれさせて、フィニッシュ担当に渡す。
- マスクを捨てる場合はTOが手を触れず、選手自ら確実にビニール袋に入れるよう促す。
- マスクを回収するTOはビニール手袋を着用する。

8-3. 設営／定点

8-3-1. 設営 (バイク)

- 当日、安全を最優先にコーン、バー、看板、ガムテープ表示を設置し、コース作りをする。
- 分岐、コーナーなど、設営を工夫して、選手が迷わないコース設定をする。
- スタジアムへ一般に訪れている人の歩けるスペースを設ける。
- コーン、バーなどの撤収を行う。
- バイク競技終了後、計測マットをラン競技会場まで運搬する。(人数は3～5名をその場の状況で集める。)

8-3-2. 設営 (ラン)

- 当日、安全を最優先にコーン、バー、看板、ガムテープ表示を設置し、コース作りをする。
- コーン、バーなどの撤収を行う。

8-3-3. 定点 (バイク)

- 当日、コースの状況を確認してTOの配置を決定する。
- 競技中のコース上の安全を監視する。
- 特に、エレベーターの出口、階段、スロープなど、人が出入りする箇所の安全に注意する。
- フィニッシュする選手へ、コースの右側へ寄るように声掛けを行う。
- 危険走行、ドラフティング、キープレフトのチェックを行い、必要に応じ選手へ声掛けをする。
- 応援者のソーシャルディスタンスを確保すると同時に、大声での応援を控えていただく。
- 落車などが発生した場合、2次的な事故を防止するとともに、落車した方の安全を確保したうえで本部へ連絡する。
- スタジアム利用者へ大会実施の案内と誘導を丁寧に対応する。

8-3-4. 定点 (ラン)

- 当日、コースの状況を確認してTOの配置を決定する。
- 競技中のコース上の安全を監視する。
- 応援者のソーシャルディスタンスを確保すると同時に、大声での応援を控えていただく。
- トラックフィールド内の芝生への侵入禁止を監視する。

以上